

# 環境省旭岳ビジターセンター完成、来年6月オープン

大雪山国立公園の表玄関、旭岳（標高2千291㍍）の旭岳温泉街（同千100㍍地点）公共駐車場横に建設中だった環境省旭岳ビジターセンターの建設工事がこのほど完了しました。来年6月下旬の夏山開き時期に合わせてオープン予定です。

木造一部鉄骨づくり平屋建て延べ6



48・8平方㍍（高さ10・8㍍）、室内高9・2㍍の無柱空間。内部は612・4平方㍍で、現ビジターセンターの約3倍の広さです。本体工事費は約5億6千万円。昨年4月に着工、9月末に完成しました。今後



内部展示工事を進めます。

中央展示ホールとレクチャールームに42㍍、80㍍4Kビデオモニター、液晶プロジェクトを完備し、

常設モニターで「雪の結晶」「大雪山

## 「やっぱり新米うまっ」新米給食始まる

11月12日、東川小学校（前田昭彦校長、361人）で今年の新米給食がスタートしました。

今日のメニューは新米ご飯と野菜炒め、照り焼きハンバーグ、白菜とえのきのみそ汁。ハンバーグは人気ベスト3のメニューでみんな大好き。「ご飯うまっい」「やっぱり新米だあ」と箸が進みました。

ゆめ公園の体験農園（約1・2㍍）で育てた「きたくりん」。収穫した米

は町内の4小、中学校と幼児センターの給食米です。この日から一斉に新米給食が始まりました。

同小の5年生と東川中学校の1年生がゆめ公園の体験農園でそれぞれ約10㍍ずつ育てています。中学校ではうるち米、もち米を隔年栽培し、



今年はおもち米栽培をしない年だったので、収穫増を見込んでいましたが、天候不良の不作年で4千747㍍しか収穫できませんでした。

農園では、ほかに町内の学校給食用にうるち米を約1㍍栽培しています。収穫した米は、例年ならば夏ごろまで給食で食べることが出来ますが、今年は来年3月中旬まで約4カ月分の収穫量にとどまりました。

の恵み・水」「大雪山の成り立ち」など大雪山の紹介番組を放映予定。レクチャールームは両サイドの壁面を開いて展示パネルにできる開放型スペースです。

施設管理は町が担当します。1982（昭和57）年開館の

現ビジターセンター（無料休憩舎と合わせ約430平方㍍）は老朽化が激しいため、町では大規模修繕のうえ用途変更して利用可能かを今後検討します。